

令和元年度第1回白馬村子ども・子育て会議 会議録		
日時	令和元年7月16日（火） 開会 午後1時30分 閉会 午後2時52分	
場所	ふれあいセンター 2階 学習室	
委 員		
白馬村教育委員会教育長職務代理	幅下 守	出
しろうま保育園長	松澤 ひとみ	出
白馬村子育て支援ルーム長	太田 智美	出
民生児童委員協議会主任児童委員	岩井 良三	出
白馬村放課後児童クラブ指導員	中村 直美（代理 篠崎 さつき）	出
白馬北小学校長	木下 政道	出
白馬南小学校長	倉科 浩美	出
白馬幼稚園長	中村 豊	出
公募委員	丸山 智彦	欠
白馬幼稚園PTA会長	山田 千夏	出
白馬幼稚園PTA副会長	アンダーソン 千晴	出
白馬幼稚園PTA役員	田中 美由季	出
しろうま保育園保護者会長	望月 真樹	出
しろうま保育園保護者会役員	池 真衣	出
しろうま保育園保護者会役員	鳴海 久美子	出
事 務 局		
子育て支援課長	田中 克俊	出
子育て支援課係長	松澤 拓哉	出
子育て支援課主事	原田 瑞希	出

1. 開会

田中課長が開会を宣言

2. 幅下会長あいさつ

昨年度より、第2期の子ども子育て支援事業計画の策定に取り組んでおり、第3回目にはアンケート結果が公表された。今年度は、その結果を踏まえ計画を具体的に策定する年となる。委員の皆さんの慎重審議をお願いしたい。

3. 委嘱状交付

異動等により新たな委員については、委嘱状を郵送により交付することとした。

4. 委員及び事務局職員の紹介

委員及び事務局職員の照会については、名簿により紹介とした。

あわせて、白馬村子ども・子育て会議要綱第4条第2項により委員数15名中14名、過半数の出席があることから会議成立の報告をした。

5. 会議運営に関する確認事項

事務局から資料3に基づき会議運営に関する確認事項について説明。

6. 協議事項

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定について

事務局から資料4並びに4-1に基づき、第2期白馬村子ども・子育て支援事業計画策定に係る事項について説明。また、第3章については、第1期の計画の内容と新たな視点やポイントを参考として掲載。各委員におかれましては、資料4-1にご記入いただき、8月5日までにお配りした、返信用封筒に入れてご提出をお願いしたい。

議長：事務局の説明について質問、意見はあるか。

議長：第1章から2章において、第1期の計画から大きく記載内容等を変更した点はあるか。

事務局：特になし

委員：多くの保護者から幼稚園の給食を村から提供してほしいと回答があったと思う。食育については、村全体で取り組んでおる事項であり、その点についても取り入れてほしい。

事務局：今回のアンケートは教育・保育の量の見込みについて記入する内容が主であり、食育に関する内容は自由記載に書いていただいたと思う。どのような取組方法を記載するか検討させてほしい。

委員：現在小学校にも外国籍の子どもたちが多数在籍しており、日本語指導や日本文化の教育が大切になってくると思う。外国籍の子どもたちがどれくらい在籍しているか把握しているか。

事務局：外国籍のお子さんや日本国籍ではあるが、海外から帰国したお子さんについて、人数や実態について全て把握している。また、今年度、白馬北小学校に日本語教育支援の講師を1名配置した。

議長：第1章及び第2章については、事務局において内容を詰めさせていただきたいとします。第3章については、期日までにご意見をまとめ、ご提出をお願いします。

(2) 図書館等複合施設基本計画策定について

事務局から、これまでの検討した経過と今後のスケジュール、並びに資料5に基づき昨年の基本構想でお示した各種諸室機能を、現状実施している状況や、今年の2月福

島・岩手県への先進地視察の状況を踏まえた上で、再度点検作業を行った結果について説明。

議長：事務局からの説明について質問、意見はあるか。

委員：今回の計画について、担当者や現場の保育士の意見は全て組み入れられたものか。

事務局：すべて意見は反映させている。

委員：室内型遊具の対象年齢はどのように考えているのか。幅広い年齢に対応している遊具にしていただけるとありがたい。

事務局：現在のところ、年齢で制限することはしない予定であるが、想定した規模より小さくなった場合などは、検討する必要が有ると考える。

委員：自分の年齢以上、チャレンジできる遊具を設置していただくと、子どもも非常に楽しみにしており、期待している。

（３）その他について

関係機関から現状や課題について報告をしていただく。

子育て支援ルーム

- ・支援ルームを利用されている保護者より現在の施設や、図書館等複合施設についての意見を募集し、すぐ対応できる内容であれば、早期に対応する。予算が必要な事項については、子育て支援課と相談し対応するようにしている。

しろうま保育園

- ・保育の質の向上をめざし、昨年より園長、主任をはじめ多くの保育士を参加させるようにした。また、保育所指針が平成２９年に改定されたのを受けて、保育は環境を通して行う保育と言われており、主体的な子どもを育てるには、環境を通して行う保育がポイントとなっており、保育士の感性を大切に保育をしていくようにしている。

白馬幼稚園

- ・幼稚園も保育園も実施している内容については、同じような内容になりつつある。また、国等より様々な課題を課せられ、特に食育などがその一つとなっており、どのように行うのが課題である。また、昨年のアンケートの結果に、保育園と幼稚園は仲良くしてほしいと意見があったが、しっかり連携も取れており仲が悪いことは無いので承知しておいてほしい。

白馬北小学校

- ・日本語支援の講師について、村の方で配置していただき感謝している。今も行っているが、地域に出て、地域の皆さんの協力を得ながら白馬村について学ぶことを大事にしていきたいと考えている。

白馬南小学校

- ・様々な国から来られている方がいるので、保護者のご意見をしっかりと聞き関係づくりをしたいと考えている。また、子ども達だけでなく、保護者の方の言葉の問題や色々な相談窓口について、子育て支援課で担っていただけるとありがたい。

放課後児童クラブ

- ・今年4月より、土曜、長期休暇について、受入れ時間を午前8時から午後6時に延長した。また長期休業期間になると北小・南小学校共に利用者が増えてくる。また、夏休み期間中は南北合同で行う期間があり子どもたちの交流が出来る半面、利用者が多い分、疲れてしまうため、保護者がお休みの時は、休むように声掛けをしている。

主任児童委員並びに調理師会

- ・今年は、保育園の年長さんを対象に手洗い教室を実施。また、味覚の授業として昨年は南小4・5年生を対象に実施している。

7. その他

事務局より、2点説明を行った。

- 1点目 今後のスケジュールは、次回会議を概ね10月に子ども子育て支援事業計画の原案について検討をしていただく。その後、第3回目は11月頃に素案として策定しご検討していただく予定。
- 2点目 報酬申請書について、対象者に配布したので、提出をお願いしたい。

8. 閉会

田中課長が閉会を宣言した。